

第3回名寄市総合計画審議会(書面)の開催結果

1 報告事項 名寄市総合計画(第2次)中期実施計画の見直しについて
全委員より承認いただきました。

2 いただいたご意見について

①No. 35 公立保育所等整備事業、No. 36・No. 136 民間特定教育・保育施設への運営支援について

施設の老朽化もあるが、子供達が安心して過ごせる、親も安心して預けることができるためには保育士さんが数・質ともに充実しているかと、保育料の負担軽減も重要だと思うので、保育士さんへの報酬等の充実、預ける側の負担軽減を実現できるような方向性を見出してほしい。

回答

本市ではこれまで、保育士の確保策として名寄市保育士等就職支援給付事業及び名寄市保育士等宿舍借上支援補助事業を実施し、保育士等の確保に努めてまいりました。また、保育士などの資質向上の取組として、各種研修会への参加に努めております。

保育料の負担軽減については、令和元年10月より3歳以上児の幼児教育・保育の無償化を実施してきました。

保育士への報酬等の充実については、民間特定教育・保育施設への運営支援として、保育士の処遇改善等に取り組む施設・事業所に対し、処遇改善加算を給付しております。

引き続き、子どもも保護者も安心して利用できる教育・保育施設となるよう取り組みを進めてまいります。

(健康福祉部こども・高齢者支援室こども未来課)

②基本目標Ⅲ 環境との共生について

環境問題については目に見えにくく知識の差があり、事業費を使うことになかなか理解してもらえない部分もあるかと思いますが、今後世界的にこの取り組みをしているか否かで市町村の役割も変わってくると思いますから、市民の皆様幅広い賛同をいただけたらいいなと思います。

回答

本市としましても地球温暖化対策は世界的に重大な課題であるととらえています。

公共施設の省エネ化や市民への啓発など、できることから取組を進めてまいります。

(市民部環境生活課)

③基本目標Ⅲ 生活安全について

市民部環境生活課担当で「交通安全」はありますが、「生活安全」の防犯関係事業が明記されておらず、事業費計上がないのはどうしてか。

回答

総合計画（第2次）前期実施計画では各主要施策に対し関連する事業を掲載しておりましたが、中期実施計画策定時に一定程度掲載事業を精査し、主に補助金・負担金の支出が中心となる事業や、ソフト事業で事業費が少額なものについては掲載しないことといたしました。

生活安全に関係する取組として、名寄地区防犯協議会連合会への補助などを行っており、中期実施計画には掲載していませんが、予算事業として取り組んでおります。

（市民部環境生活課）

④No. 80 空き家等対策計画推進事業

名寄市のHPを見ると空家バンクの空家・空地の登録件数がゼロとなっており、令和3年度どのような施策で事業展開するのでしょうか。中心市街地で空家が目立っていますが。

回答

空家対策の大きな課題は、通行人等に被害を及ぼす恐れのある危険空き家が主であり、市民の安全を守るため、広く所有者等への当事者意識の啓発を行うとともに、危険空き家の関係者への個別連絡などの対応を行っております。特に本年度から危険家屋除却推進補助金制度を構築し、市民への被害が及ぶ切迫性の非常に高い住宅の除去を支援することにより、市民の安全安心の確保を図ってまいりました。

本市における空家バンクの制度は、空き家が危険な状態になる前の流通促進を目的としており、民業圧迫を避け、当事者間のトラブルを防止する観点から、市と協定を結んだ宅地建物取引業者に仲介を依頼した所有者等が希望した場合に情報発信のツールとして使っていただける仕組みとなっております。

協定を結んだ業者に確認を行っておりますが、現状において、市内不動産における売買等物件の流通は順調であり、空家バンクで発信する必要のある物件が生じていない状況にあります。

空家バンクとしての実績は上がっておりませんが、物件の流通が順調であることは好ましいことであると考えております。

また、空き家活用促進策として、名寄市ずっと住まいる応援事業における補助に空家改修の場合の補助額加算の仕組みを設けており、制度の周知に努めてまいります。

（市民部環境生活課）

⑤基本目標Ⅳ 農業・農村の振興について

農業分野においても、中国人実習生の受け入れができなくなっている中、繁忙期の働き手の協力などを考えていただけたらありがたいと思います。自衛隊さん、大学生は大変助かったという声を聞きました。

回答

農業における労働力確保について、繁忙期を中心とした対策として、市立大学生による農作業従事やスマートフォンアプリを活用したアルバイトのマッチング支援をJAと連携し取り組んでおります。また、通年の雇用労働力の確保については、働き手が求める雇用条件の整備が重要なことから、法人化の推進に取り組んでいるところです。

技能実習生について、昨年は新型コロナウイルス感染症対策として、海外からの入国が制限され受け入れができない状況となり、不足分を補うために各農業者において知人や派遣労働の活用など様々な形で取り組まれたところです。

今後の労働力確保に向けては、リスク分散を図る意味でも多様な手段の確保について検討していく必要があると考えております。検討にあたっては、安定的に確保できるか、経費・作付け体系など個々の経営判断が重要なことから、必要な情報提供や体制整備に向けてJAと連携して対応していきたいと考えております。

(経済部農務課)

⑥基本目標Ⅳ 商業の振興について

飲食店など、経営の打撃を受けている方、働き口を失い生活に困窮されている方などがいないか心配しております。何かの形で調査いただけたら幸いです。

回答

新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策として、本市ではこれまで、制度融資、2度のプレミアム付き商品券への支援、2段階の給付金、店舗支援等の補助基準の拡充・緩和と、経済団体や金融機関との検討、事業者との意見交換会などを踏まえ、切れ目のない支援に努め、市内経済の一定の下支えに寄与してきたところです。

その後、昨年11月頃から市内経済が再び大きな影響を受けているという状況を受け、本年1月27日から、影響の大きい飲食業／バス・タクシー業／宿泊業に絞って、給付金による支援を行っております。

今後も引き続き、長期化することを視野に入れながら、経済団体と連携し、適宜、必要かつ持続可能な対策を講じてまいります。

(経済部産業振興室産業振興課)

⑦No. 127 中小企業振興事業（商店街等活性化事業）について

予算に対して市内商店街の活性化に効果があるのか疑問。

駐車場の問題、大型店舗との競争力（価格、店舗のきれいさ等）の差、買い物の便利さ等々課題が多くあると思う。

自主性に任せることもいいと思うが、支援や助成の方向を具体的に絞ったほうが企業としては動きやすいのではないかと感じる。

回答

本市の地域経済の活性化のためには、中心市街地の果たす役割は大きく、経済人などで構成する中小企業振興審議会の意見を踏まえ、名寄市中小企業振興条例に基づいて、商業地域内での店舗改修や空き地・空き店舗の活用を促す支援など行っております。

中心市街地の活性化に寄与する取組については、現在進めている、市や中小企業、市民の役割等を定める中小企業の振興に資する基本計画の策定作業に併せて、より事業者のニーズに沿った使い勝手の良い制度となるよう、令和3年度内の見直しに向け、中小企業振興審議会及び検討部会で審議いただいているところです。

（経済部産業振興室産業振興課）

⑧No. 131 企業立地促進事業について

王子マテリアの事業撤回が決定していますが、企業誘致等について令和3年度の事業費はゼロで令和4年度20百万円の事業費計上となっておりますが、令和3年度ゼロベースでの事業が可能なのでしょうか。

回答

中期実施計画当初では令和4年度20百万円を計上しておりましたが、令和元年度の見直し（ローリング）でゼロにしています。

企業立地促進事業は、名寄市企業立地促進条例に基づく助成制度で、指定申請を受けて、市が指定した事業者が翌年度以降に補助金交付申請をする仕組みとなっており、毎年のローリングでは、補助金交付申請の見込みがあるものを計上することとしております。

令和2年度のローリングでは、令和3年度及び令和4年度に補助金交付申請の見込みがないことから、事業費を計上しておりません。

王子マテリア名寄工場における敷地の利活用を含め、今後市内で新たな企業誘致や企業立地が見込まれる場合は、適宜、ローリングにおいて追加するなど、対応してまいります。

（経済部産業振興室産業振興課）

⑨No. 135 観光振興事業に関して

コロナ禍における影響を受けて、観光の形が変わってきております。昨今注目されているキャンプ人気に対応した取組や、キャンピングカー、キャンピングトレーラーを活用した旅行形態について、ぜひ将来的な環境整備に向けて検討いただきたく思います。

コロナ禍では密を避けられ、コロナ後もインバウンド勢を含む新たな旅行形態として人気があると思われませんが、現状、どちらかというと歓迎されているよりも煙たがられているのが現状です。しかし、環境整備を行えば問題は起きず、いま取り組めば名寄がキャンピングカーの中心地になれる可能性もある段階だと思います。（今回の見直しに係るものではなく、今後観光に掛かる政策検討を行う際に参考意見として検討いただければ幸いです）

回答

貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。

（経済部産業振興室産業振興課）

⑩No. 142 スクールバス運行事業について

スクールバスの運行について、中名寄小学校に通う子ども達は公共バスを使い登下校しているが、特に冬は危険が多く、スクールバスの運行を強く要望している。

回答

スクールバスの運行につきましては、学校統合により他の学校へ通学が必要となった地区から、統合先となった小中学校へ通学するために運行していることから、今回ご要望いただいております中名寄小学校へのスクールバス運行はできませんが、特認校制度で学校に通われている児童生徒の支援として、公共交通機関を利用し、特認校通学にかかる通学費の一部補助を行っております。また、公共交通機関が利用できない場合など、特例として自家用車を利用することも可能となっております。ガソリン等の購入費の一部を補助しておりますのでご理解願います。

（教育部学校教育課）

⑪基本目標Ⅴ 小中学校教育の充実 不登校児童・生徒の支援体制について

支援教育の充実を図ってほしい。現状は空きがなく、なかなか通えないでいるので、希望があれば時間をおかずに可能な限り通える体制づくりが必要と思う。

回答

教育相談センターでは、不登校児童生徒のために適応指導教室を設置しております。ご指摘のありました空きがなく通室できないとの件ですが、現状通室をお断りしているとの認識はございません。

入室に至るまでは、児童生徒や保護者から学校生活や家庭環境などの悩みを聞き取るとともに、学校、関係機関と情報共有を行い、不登校となっている児童生徒の学校復帰への支援の手段がないかの確認を行うなど、入室手続きに一定の時間を要する場合がありますが、不登校児童生徒の心情を受け止め、それぞれの子どもたちに合わせた学習や体験活動の支援や指導を行っております。

今後も不登校などで悩む児童生徒に対し、学校への復帰や基本的な生活習慣の改善、豊かな情操や社会性の育成を目的とし、個々の児童生徒に合わせた支援体制を整備してまいります。

(教育部教育相談センター)

⑫基本目標Ⅴ 小中学校教育の充実、高等学校教育の充実、青少年の健全育成について

図書館や天文台への交通手段が非常に限定的に思われる。市内全域から季節に関係なく学生だけで行けるようにすることで教育の充実のひとつに繋がると思う。

天文台は夜間がメインなので、学生だけでは行けない場合が多いと思う。交通手段の充実と子供達が安全に利用できる環境を目指してほしい。

コロナ情勢にもよるが、スポーツ合宿以外にも天文学部に観測合宿に来てもらったりするのはどうでしょう。

回答

現在、天文台と同じ道立公園にあるサンピラー交流館と市内中心部との間で1日5往復バスが運行されていますが、夏時間(4月から11月)の最終が17時半であること、サンピラー交流館から天文台へは、徒歩で15分程度かかることなど、バスを利用しての天文台の利用は課題となっております。また、観測は天候に左右されることから、バスの路線延長や定期的な運行は難しい状況にあります。このことから、今後はイベント時での臨時的な運行が可能か、検討してみたいと考えております。

観測合宿については、本州の高校がSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)事業の一環として毎年訪れたり、道内大学の天文サークルが、隔年で名寄に集まるといった活動もされています。また、そのサークルのOB会が、天文台の望遠鏡を夜間貸切で利用するという事もありました。

今後、このような天文台からだけの誘致ではなく、宿泊施設等を巻き込んだ誘致を検討していきたいと考えております。

(教育部天文台)

⑬基本目標Ⅴ 大学教育の充実に関して

名寄市立大学の定員を増やすことはできないのでしょうか。看護師不足が叫ばれている昨今ですので、需要と供給がアンバランスなのではないのでしょうか。

回答

看護学科の収容定員を増加するためには、大学設置基準に基づき、施設的には学内の実習施設及び講義室を確保しなければならず、現在、名寄市立大学では1学部4学科を設置しておりますが、いずれも定員を満たしている状況であることから、新たに学内施設を建設しなければなりません。また、看護学科担当教員の増員・学外実習施設の確保など財政・人材確保・学外実習施設の協力など厳しい基準を満たさなければ、文部科学省から認可されません。

このことから、現状を考えますと看護学科の収容定員を増加することは困難な状況ではありますが、市立大学では、これからも4学科連携し大学の理念である「ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学」を目指し、卒業生の地元定着に向けて様々な施策に取り組んでまいります。

(名寄市立大学事務局)

⑭その他

育児、子育て、青少年の教育に力を入れることは非常に良いことと思います。コロナの影響でリモートワークも増えていくことと思いますので、子育て支援に力を入れていることや移住促進も推進していることで興味を持ってくれる子育て世代は少なからずいるのではないかと思います。

リモートワークに強い環境を整えば、若者には仕事がないという田舎の悩みが改善されるような気がします。

回答

光ファイバーの整備を市内全域となるよう進めており、リモートワークの環境も向上していくものと思われまます。

本市では、リモートワークのみならずワーケーションでの受け入れも次年度から取り組めるよう検討しており、関係・交流人口の拡大や移住・定住に繋がるよう情報発信等に努めてまいります。

(総務部総務課)

⑮その他

王子マテリア株式会社名寄工場閉鎖に関して、今後の対応を含めて総合計画に組み込む必要を感じる。

回答

王子マテリア株式会社名寄工場生産品集約に関する取組では、撤退後の跡地利活用、関係する従業員の雇用について、商工会議所や北海道、ハローワークなどと対策本部を組織し、基本的な考え方をまとめ、「再生可能エネルギー」「物流・防災拠点」「ＩＯＴデータセンター」の３本柱を基本的な考え方として公表するとともに、各種相談ごとの窓口を案内するなど雇用対策にも取り組んでおり、併せて王子ホールディングスに対して要望を行ってきております。

総合計画は中長期的な目指すべき姿、展望を示しており、王子マテリア株式会社名寄工場の閉鎖は本市にとって大変大きな問題であると認識しておりますが、総合計画とは別枠で短期集中的に取り組むべき事案と考えております。

今後とも対策本部を中心に関係機関と連携を図り、スピード感を持って適宜対応してまいりたいと考えておりますので、ご指導・ご協力をお願いいたします。

(総合政策部総合政策課)

⑯その他

コロナウイルスの影響で、思うように進められない事業なども出てくると思います使えなかった予算は次年度にスライドするのでしょうか？ それとも再配分するのでしょうか？

回答

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通り開催することができない事業も多くあり、当初予定していた予算に残高が生じております。これら予算残の取り扱いですが、令和２年度予算の執行残をそのまま追加するという方法はとっていませんので、スライドという形ではありません。

令和３年度の新型コロナウイルス感染症対策については、令和２年度同様、感染状況や市内経済の動向により、当初予算のみならず補正予算により、実行していく考えであり、これら対策事業の財源としても、令和２年度の未執行分の剰余財源を活用していく考えでございます。

(総務部財政課)

⑰その他

どの事業も、市民が日常を維持していくには大切なものばかりで、必要だと思いました。特に、高校前駅や海外留学助成など学業に関する取り組みは、事業費を減らさず今後もお願いしたいです。

回答

名寄高校前駅については、現在名寄高校通学生の利用が多い東風連駅を名寄高校前に移設し、通学の利便性並びに名寄高校の魅力向上を目指すもので、令和3年度に本体工事を行う予定となっております。計画通り事業が進捗するようJR北海道はじめ関係機関と連携を図り推進してまいります。

また、名寄市立大学生に対する支援の一つであります海外短期留学当支援事業は、コロナ禍で利用が難しい状況にありますが、コロナ収束を目据えて引き続き人材育成支援を実施してまいります。

(総合政策部総合政策課)

⑱その他

ローリング結果について了解いたしました。財政も厳しく、コロナ禍の影響もあって大変な時勢ではございますが、重点項目に期待しておりますので鋭意進めていただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

【参考】

ローリング（ローリング方式）

計画と現実が大きくずれることを防ぐため、毎年度修正や補完などを行い、計画を定期的に見直して必要な改訂を行うこと。

名寄市総合計画（第2次）では「実施計画は、～(中略)～ 社会経済情勢の変化や行政評価の結果などを踏まえ、総合計画実施計画ローリングを毎年度実施し、基本計画期間中の事務事業の必要に応じた見直しにより、計画の実効性を高めることを目指します。」としています。